



Dominion KX III ユーザーステーション

クイック セットアップ ガイド

高いパフォーマンスを誇るDominion KX IIIユーザーステーションをご購入いただき、ありがとうございます。Dominion KX IIIユーザーステーションは、ラリタンのエンタープライズクラスの**Dominion KX III** KVM-over-IPスイッチにいつでもどこでもアクセスするための専用アプライアンスです。

このクイック セットアップ ガイドでは、Dominionユーザーステーションのインストール方法と設定方法について説明します。Dominionユーザーステーションの使用に関する詳細は、アプリケーションからオンラインヘルプにアクセスするか、ラリタンのWebサイトの「サポート(Support)」ページ(<http://www.raritan.com/support/>)からユーザガイドをダウンロードしてください。

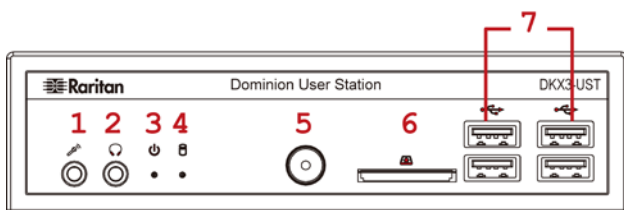
パッケージの内容

Dominion ユーザーステーションは、以下の内容で出荷されます。

- Dominion ユーザーステーション
- 電源アダプタ
- VESA マウントキット
- クイック セットアップ ガイド
- 保証書
- L型ラックマウントキット(オプション)

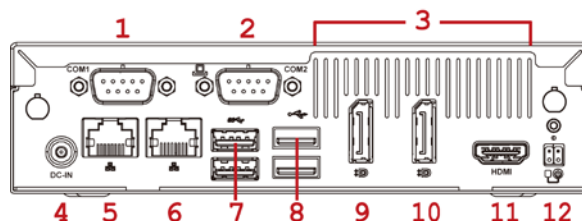
注: ユーザーステーションを 19 インチのデータセンターラックに取り付けるには、L型ラックマウントキットをラリタンからご購入いただく必要があります。ラックマウントの指示事項については、オンラインヘルプまたはユーザガイドを参照してください。

前面図



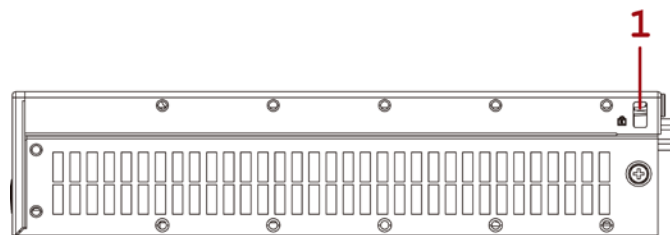
- | | |
|------------|----------------|
| 1. マイク入力 | 5. 電源ボタン |
| 2. 音声出力 | 6. SD カードリーダー |
| 3. 電源 LED | 7. USB 2.0 ポート |
| 4. HDD LED | |

背面図



- | | |
|----------------------|----------------------------|
| 1. RS232/RS422/RS485 | 7. USB 3.0 ポート |
| 2. RS232 | 8. USB 2.0 ポート |
| 3. 換気 | 9. DisplayPort (DP) ビデオ 1 |
| 4. DC 電源入力 | 10. DisplayPort (DP) ビデオ 2 |
| 5. ギガビット LAN ポート 1 | 11. HDMI ビデオ |
| 6. ギガビット LAN ポート 2 | 12. 外部電源ボタン用コネクタ |

側面図



1. ケンジントンロックホール

VESA マウント(オプション)

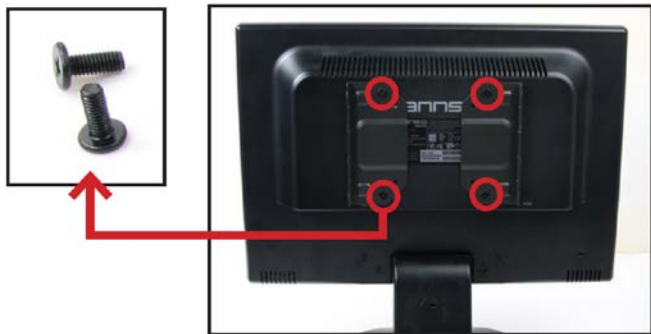
Dominion ユーザーステーションは、75 または 100 mm の VESA 規格のモニタ後部に取り付けることができます。

VESA マウントキット



▶ VESA の取り付け手順は、次のとおりです。

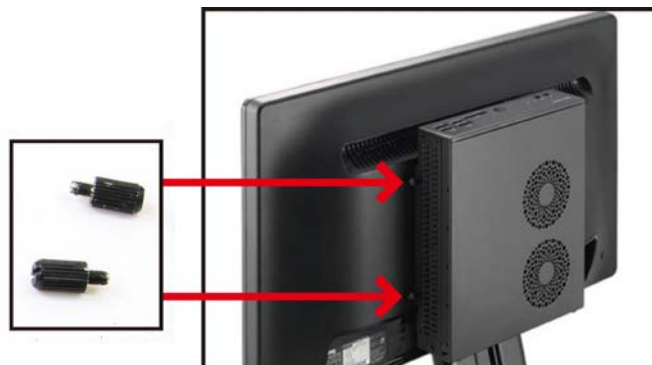
1. モニタも含め、すべてのデバイスの電源をオフにして、接続を外します。
2. 適切なネジを使用して、モニタ後部に VESA マウントをしっかりと取り付けます。



3. ユーザーステーションの両側の 2 つのネジ穴を VESA マウントの穴に合わせます。



4. 適切なネジを 4 つ使用して、両側をしっかりと締めます。



5. これで、Dominion ユーザーステーションがモニタに取り付けられました。

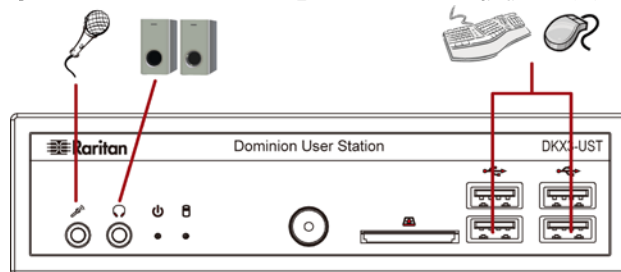


手順 1: 装置の接続

ここでは、基本的なハードウェアのインストールについてのみ説明します。詳細な接続情報は、ユーザガイドかオンラインヘルプを参照してください。

▶ 基本的な接続を行うには、次の手順に従います。

1. すべてのデバイスの電源を外します。
2. USB キーボードとマウスを前面または背面の USB 2.0 ポートに接続します。
3. オプション: マイクとスピーカーをフロントパネルに接続します。

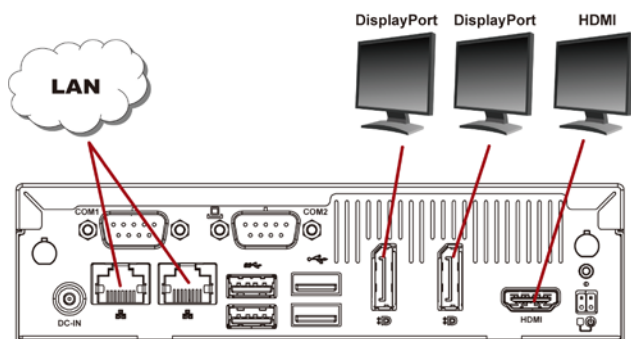


4. 背面パネルにある、いずれかまたは両方の LAN ポートを介して、ユーザーステーションをネットワークに接続します。

5. いずれかまたは両方の DisplayPort ポート、または HDMI ポートを介して、1 つまたは 2 つのモニタを接続します。

注 1: DisplayPort および HDMI では、映像信号と音声信号の両方が送信されます。音声を使用する場合は、お使いのモニタが音声の送信をサポートしている必要があります。

注 2: ユーザステーションに接続可能なモニタの数は 1 つまたは 2 つのみです。



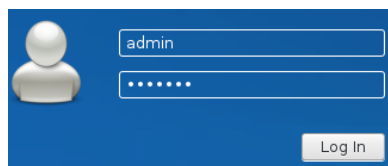
6. すべてのデバイスの電源をオンにします。

手順 2: Dominion ユーザステーションへのログイン

最初のログインには、工場出荷時のデフォルトのユーザ認証情報を使用します。ユーザ認証情報は、大文字と小文字が区別されます。

▶ ユーザステーションにログインするには、次の手順に従います。

1. ユーザ名「admin」を入力します。
2. パスワード「raritan」を入力します。



注: 工場出荷時のデフォルトのパスワードは、変更することをお勧めします。指示事項については、オンラインヘルプまたはユーザガイドを参照してください。

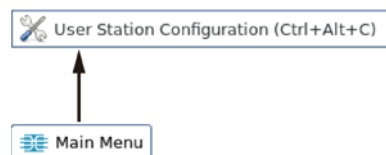
手順 3: KX III KVM スイッチの追加

ユーザステーションが非 DHCP ネットワークに接続されている場合は、KX III KVM スイッチを追加する前に、ネットワーク設定を手動で行う必要があります。「基本的なネットワーク設定」(ページ5)を参照してください。

KX III KVM スイッチは、[User Station Configuration (ユーザーステーションの設定)] ウィンドウで追加します。

▶ KX III KVM スイッチを追加するには、次の手順に従います。

1. 次のいずれかの方法で [User Station Configuration (ユーザーステーションの設定)] ウィンドウを起動します。
 - [Ctrl]+[Alt]+[C] を押します。
 - [Main Menu (メインメニュー)] > [User Station Configuration (ユーザーステーションの設定)] を選択します。[Main Menu (メインメニュー)] は、画面の左下端にあります。



2. **Add KX Device** をクリックします。
3. KX III KVM スイッチのデータを入力します。

* IP Address / Hostname このフィールドに、KVM スイッチの IPv4/IPv6 アドレスまたはホスト名を入力します。

* Username この KVM スイッチのポート情報の問い合わせには、KVM スイッチのユーザ認証情報が必要です。

4. **Add KX Device** をクリックしてデータを保存します。

5. [Back (戻る)] をクリックして「KX Devices (KX デバイス)」ページに戻ります。同じ手順を繰り返して、他の KVM スイッチを追加します。

重要: KVM スイッチ情報問い合わせ用のユーザ認証情報は、各ユーザベースで保存されます。追加した KVM スイッチを他のユーザが利用する場合、他のユーザは自身のユーザ認証情報を改めて入力して保存する必要があります。「ポート情報問い合わせ用のユーザ認証情報」(ページ6)を参照してください。

手順 4: KVM スイッチと KVM ポートへのアクセス

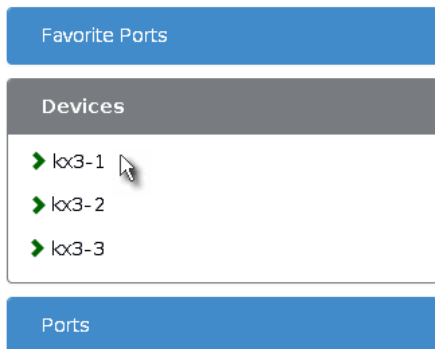
KVM スイッチに接続されたコンピュータデバイスには、[Port Navigator (ポートナビゲータ)] ウィンドウからアクセスします。このウィンドウには、次の 3 つのパネルがあります。

- **Favorite Ports (お気に入りのポート):** 設定の指示事項については、ユーザステーションのオンラインヘルプまたはユーザガイドを参照してください。
- **Devices (デバイス):** 追加したすべての KX III KVM スイッチとそのポートを表示します。
- **Ports (ポート):** KVM ポートのみを表示します。

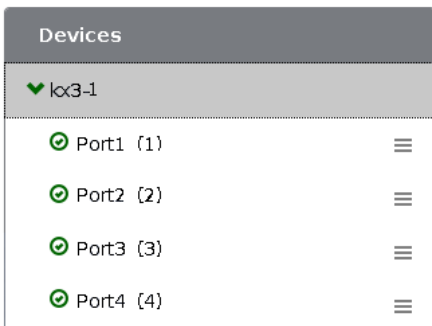
このウィンドウは、デフォルトで表示されます。表示されない場合は、[Ctrl]+[Alt]+[N] を押すか、[Main Menu (メインメニュー)] > [Port Navigator (ポートナビゲータ)] を選択して、ウィンドウを起動します。

▶ **KVM スイッチのポートにアクセスするには、次の手順に従います。**

1. [Devices (デバイス)] パネルで KVM スイッチをクリックします。



2. デフォルトでは、「up (アップ)」のポートの一覧のみが、選択した KVM スイッチの下に表示されます。
 - カッコ内の数字は、KVM スイッチの物理的ポート数です。



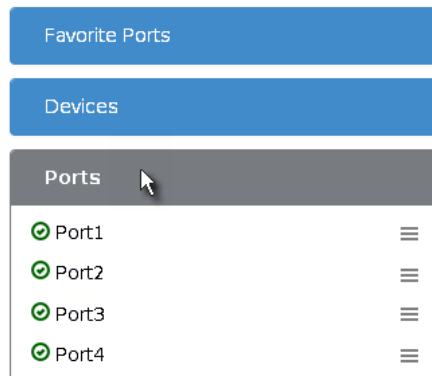
3. 使用する KVM ポートのアイコン  をクリックして、次のオプションから 1 つ選択します。
 - Open in new KVM client (新しい KVM Client で開く): 新しい KVM Client ウィンドウが開きます。
 - Open in current KVM client (現在の KVM Client で開く): ポートは、現在の KVM Client ウィンドウ内に起動されます。


または、次のいずれかの方法でポート名をクリックして、KVM ポートにアクセスすることができます。

 - 「シングル」クリックで、現在の KVM Client ウィンドウ内に開きます。
 - 「ダブル」クリックで、新しい KVM Client ウィンドウ内に開きます。
 - 「右」クリックで、KVM Client オプションが表示されます。

▶ **KVM ポートに直接アクセスするには、次の手順に従います。**

1. [Ports (ポート)] パネルをクリックすると、すべての「up (アップ)」の KVM ポートがデフォルトで表示されます。

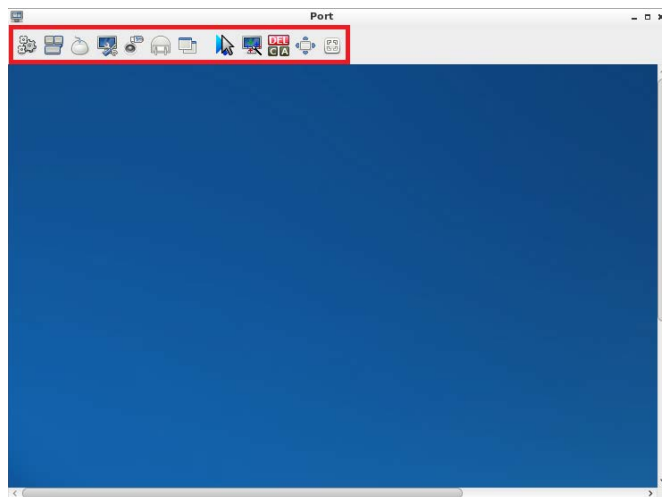


2. 使用するポート名をクリックするか、ポートの  アイコンをクリックします。

手順 5: KVM Client の使用








KVM ポートにアクセスすると、ユーザーステーションの KVM Client ウィンドウが開きます。KVM ポートに接続されているターゲットサーバのビデオが、KVM Client に表示されます。設置したキーボードとマウスを使用して、ターゲットサーバを制御することができます。

KVM Client ウィンドウ上部のツールバーを使用して、便利なユーザオペレーションや設定を行うことができます。








ツールバーは、2 つのグループに分けられます。

左グループは、次のボタンから構成され、設定やプロパティを変更することができます。

ボタン	機能
	<p>接続プロパティ:</p> <p>このボタンは、ターゲットサーバへの各ユーザの接続上でのビデオパフォーマンス効率を管理します。設定内容は、アクセスした KVM ポートについて、永続的に保存されます。</p> <p>また、このボタンで、FPS やビデオ解像度などの情報を表示することができます。</p> <p>工場出荷時のデフォルト設定は、ほとんどの接続で最適なものになっています。そのため、必要な場合をのぞき、設定を変更することはお勧めしません。</p>
	<p>キーボード:</p> <p>このボタンは、利用可能なホットキーマクロの一覧を表示して、選択したマクロをターゲットサーバに送信します。</p>
	<p>マウス:</p> <p>このボタンでは、シングルマウスモードとさまざまなデュアルマウスモードの切り替えができます。また、2つのマウスポインタを画面で同期することができます。</p>
	<p>ビデオ設定:</p> <p>このボタンは、ビデオ検出と色補正設定を調整します。</p>
	<p>音声接続、大容量記憶、SmartCard デバイス:</p> <p>ターゲットが仮想メディアをサポートしている場合、このボタンは、仮想メディアドライブやスマートカードリーダーとターゲットサーバとの接続または切断を行います。</p> <p>たとえば、ターゲットサーバに CD-ROM や USB フラッシュドライブを取り付けることができます。</p> <p>また、ターゲットサーバへの音声接続を設定することもできます。</p>
	<p>電源操作:</p> <p>このボタンは、Raritan PDU が同じ KVM スイッチに接続されている場合、ターゲットサーバの電源をオン、オフにしたり、電源スイッチを切つてすぐに入れなおしたりします。</p>
	<p>表示:</p> <p>このボタンは、スケールビデオや全画面モードなど、いくつかのディスプレイオプションを表示します。</p>

右グループは、頻繁に使用される機能へのショートカットボタンで構成されます。

ボタン	機能
	<p>マウスの同期:</p> <p>このボタンは、ターゲットサーバのマウスポインタが、デュアルマウスモードのユーザーステーションのマウスポインタに適合するようにします。</p>
	<p>自動検出ビデオ:</p> <p>このボタンは、ビデオ再検出を実行させて、ビデオディスプレイを調節します。</p>
	<p>[Ctrl]+[Alt]+[Del]送信:</p> <p>このボタンは、ホットキー[Ctrl]+[Alt]+[Del]をターゲットサーバに送信して、そのサーバが確実に読み取るようにします。</p>
	<p>全画面モード:</p> <p>このボタンは、ターゲットサーバのビデオを全画面で表示します。</p> <p>全画面モードを終了するには、[Ctrl]+[Alt]+[F]を押します。</p>
	<p>ウィンドウをターゲットに合わせる:</p> <p>このボタンは、ターゲットサーバのデスクトップビデオに合うように、KVM Client ウィンドウのサイズを変更します。</p>

ツールバーのボタンに関する詳細は、オンラインヘルプまたはユーザガイドを参照してください。

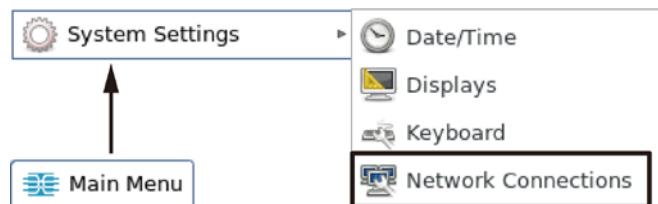
基本的なネットワーク設定

IPv4 設定と IPv6 設定の両方とも、ユーザーステーションのデフォルトのネットワーク設定は、[Automatic(自動(DHCP))]です。

このセクションでは、基本的なネットワーク設定についてのみ説明します。詳細については、オンラインヘルプまたはユーザガイドを参照してください。

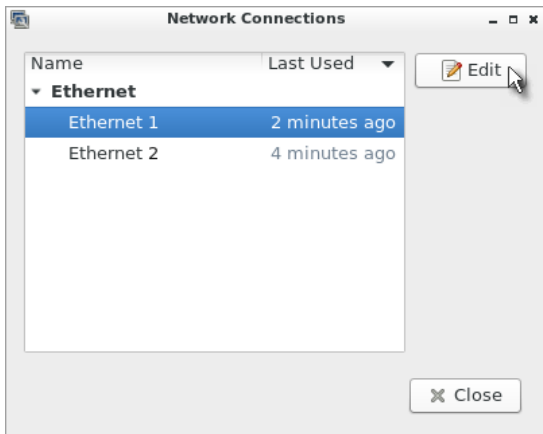
▶ 基本的なネットワーク設定を行うには、次の手順に従います。

- [Main Menu(メインメニュー)] > [System Settings(システム設定)] > [Network Connections(ネットワーク接続)]を選択します。

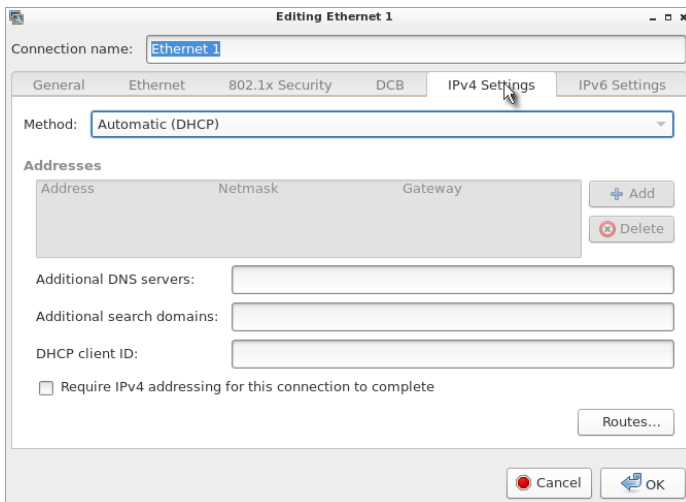


- [Network Connections(ネットワーク接続)]ダイアログでは、2つの LAN ポートに2つのデフォルトのネットワーク接続をすることが可能です。Ethernet 1は LAN ポート 1、Ethernet 2は LAN ポート 2 用です。

使用する Ethernet を選択して、[Edit (編集)] をクリックします。



3. [IPv4 Settings (IPv4 の設定)] タブをクリックします。

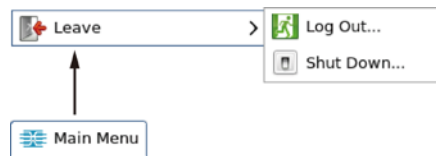


4. [Method (方法)] フィールドで、次のオプションの中からいずれか 1 つを選択してください。

- Automatic (DHCP) (自動 (DHCP)) : DHCP サーバが IPv4 アドレスを自動的に割り当てます。これはデフォルト設定です。
 - Manual (手動) : このオプションは、静的アドレスを設定します。[Add (追加)] をクリックして、少なくとも 1 つの IPv4 アドレス、ネットマスク、ゲートウェイを指定します。
 - Disabled (無効) : IPv4 ネットワークが無効になります。
5. ご使用のネットワークが IPv6 をサポートしている場合は、[IPv6 Settings (IPv6 の設定)] タブをクリックして、上記の手順を繰り返して IPv6 を設定します。IPv6 では、[Disabled (無効)] オプションの代わりに [Ignore (無視)] オプションで IPv6 ネットワークを無効にすることに注意してください。
6. [OK] をクリックします。

ログアウトまたはシャットダウン

ログアウトとシャットダウンのコマンドは、両方とも、[Main Menu (メインメニュー)] の [Leave (終了)] から使用することができます。



- Log Out (ログアウト) : ユーザステーションからログアウトします。
- Shut Down (シャットダウン) : 次のオプションがあります。希望するものをクリックします。クリックしないと、ユーザステーションは 1 分後に自動的にシャットダウンします。
 - Suspend (サスペンド)** : 省エネモードになります。
 - Restart (再起動)** : ユーザステーションを再起動します。
 - Shut Down (シャットダウン)** : ユーザステーションの電源を切断します。


警告 : 電源ボタンを直接押したり、電源コードを抜いたりして、ユーザステーションの電源を切らないでください。ユーザステーションが損傷する可能性があります。

ポート情報問い合わせ用のユーザ認証情報

ユーザステーションでは、操作するすべてのユーザが追加された KVM スイッチを共有しますが、KVM スイッチのユーザ認証情報は共有 されません。

最初に KVM スイッチを追加したユーザ以外としてログインする場合は、KVM スイッチのポート情報の問い合わせにユーザ認証情報を入力する必要があります。

▶ **KVM スイッチのユーザ認証情報を入力するには、次の手順に従います。**

1. [User Station Configuration (ユーザステーションの設定)] ウィンドウが起動していない場合は、[Ctrl]+[Alt]+[C] を押すか、[Main Menu (メインメニュー)] > [User Station Configuration (ユーザステーションの設定)] を選択します。
2. 使用する KVM スイッチの  ボタンをクリックします。
3. 新しいユーザ認証情報を入力します。
4. [Save (保存)] をクリックします。

その他の情報

Dominion ユーザステーションおよびラリタンの製品ラインナップ全体の詳細については、ラリタンの Web サイト (www.raritan.com) を参照してください。技術的な問題については、ラリタンのテクニカルサポート窓口にお問い合わせください。世界各地のテクニカルサポート窓口については、ラリタンの Web サイトの「Support (サポート)」セクションにある「Contact Support (サポートお問い合わせ先)」ページを参照してください。ラリタンの製品では、GPL および LGPL の下でライセンスされているコードを使用しています。お客様は、オープンソースコードのコピーを要求できます。詳細については、ラリタンの Web サイトにある「Open Source Software Statement (オープンソースソフトウェアについて)」 (<http://www.raritan.com/about/legal-statements/open-source-software-statement>) を参照してください。